



シェルボーン・ムーブメント初級者コース〈セッション1.2.3.4〉

シェルボーン・ムーブメントとは？

イギリスのヴェロニカ・シェルボーンによって創案され、1960年代後半からヨーロッパ各地やカナダ、台湾で特別な配慮を必要とする子どもたち(重症心身障害・知的障害・発達障害・視力障害・聴力障害)だけでなく乳児から高齢者まで幅広い対象者に用いられているセラピーです。1993年に当財団が日本に紹介して以来、日本でも多くの幼稚園、保育所、通園施設、学校、成人の施設等で用いられています。

→ 目的

子どもが発達していくうえでとても重要な自分自身の身体認識、自分の置かれた空間や周囲の環境への認識、他者と関わる能力といった脳の発達を促す運動療法です。物の操作性の発達、対人関係の発達、ことばの発達の援助にもなり、大人においては自己にくつろぎと自信を感じさせ、日々の生活に心地よさをもたらします。

→ 方法

1人あるいは2人、またはグループでさまざまな身体運動-感覚経験を積みます。

→ 道具

特別な訓練用具を必要としないため、現場で容易にご活用いただけます。



【日程】	2023年7月29日(土) [セッション1・2]	30日(日)[セッション3・4]
【時間】	9:30~16:30 (両日とも)	
【場所】	中央区文化センター 神戸市中央区東町115番地 JR・阪急・阪神・市営地下鉄山手線三宮駅から徒歩6分 神戸市役所西側	
【受講料】	7,000円(セッション1・2:3,000円 セッション3・4:4,000円)	
【対象】	教諭、保育士、看護師、指導員、生活指導員、PT/OT/STなどの療育関係者 30名	

〈講師紹介〉

●平井 真由美

神戸女学院大学児童学科卒業。児童発達支援センター「かるがも園」元施設長。

40年にわたり、さまざまな障害のある子どもたちの療育に携わっている。国際シェルボーン協会認定コースリーダー。

●衣本真理子

関西学院大学社会学部卒業後、公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団に入職。言語聴覚士。

国際シェルボーン協会認定コースリーダー。

実施概要

7月29日(土) (セッション1・2)

- * 国際シェルボーン協会認定コース紹介
- * シェルボーン・ムーブメント概要
- * シェルボーン・ムーブメント実技 (身体・人間関係)
- * シェルボーン・ムーブメント理論 (動きの観察)
- * 動画を用いた観察
- * ディスカッション 等

7月30日(日) (セッション3・4)

- * シェルボーン・ムーブメント実技 (空間・動きの質)
- * シェルボーン・ムーブメント理論(動きの観察と分析・エラスティック・ボックス)
- * 動画を用いた観察
- * ディスカッション 等

※2日連続での受講が難しい場合はセッション1・2のみの受講も受け付けます。
ただし、セッション3・4の受講はセッション1・2を受けた方が対象となります。

『参考書籍』

シェルボーン・ムーブメント入門 第2版
～発達のための新しい療育指導法



コミュニケーションのためのムーブメント
～シェルボーン・ムーブメントの発展のためのムーブメント展開



シェルボーン・ムーブメント認定コースの流れ

新基準コース	研修内容	今後の予定	旧コースからの移行
初級者コース	セッション1～4	日程：2023年7月29、30日 場所：中央区文化センター 時間：9：30～16：30	セッション1・2を修了されている方は、セッション3から受講
実践者コース	セッション5・6	日程：2023年10月 場所：未定 時間：9：30～16：30	旧レベル1コース（入門コース、入門前期コース）を修了された方は、セッション5の実践者コースから受講
上級実践者コース	セッション7～10	日程：2024年2月10、11日 場所：未定 時間：9：30～16：30	旧レベル2コース（実践コース、入門後期コース）を修了された方は、セッション7の上級実践者コースから受講
指導者を目指すための基準と評価	セッション11・12	日程：2024年2月12日 場所：未定 時間：9：30～16：30	旧レベル3コース（上級コース）を修了されたかたで、指導者を目指す方は、セッション11・12のコースを受講



申し込み

QRカード読み取り
または
「こくちえずプロ」HP内で検索
締切:7月14日（金）



ひょうご子どもと家庭福祉財団(担当:瀧末、林、松浦、田中)

Mail:kenshukai@fkodomo-katei.org Tel:078-382-0294 Fax:078-371-0966